



森町立泉陽中学校だより

平成23年10月14日発行  
(学校だよりは全職員でつくります)

教育目標「志をもち鍛える たくましい生徒」

重点目標「学び・伸ばし・磨く」

いま、自分にできること 一団結力を、自分個人に返そうー

校長 中村 和久

体育大会が終わりました。10月は、体育大会の「団結」で培った力を、学習や部活動、合唱等、個人の力に変えて、自分の力を伸ばし、2学期を「来るものではなく、創り出す」ものにしていきたいと考えています。そんな気持ちを込め、10月3日の朝礼で、以下のような話をしました。

「陽光祭では、全校体育、団練習、そして本番と、本当によくやってくれました。感動する場面がいくつもありました。

私は、陽光祭を開始するにあたり、「自己主張できる体育大会にしよう」、そして『自己主張できる』とは、全力で『大きな声』をだすことだ」と話をしました。

開会式では、まず、各団の団長さんが、大きな声で、決意を述べてくれました。各種リレーでは、真剣に走る選手に対して、各団の人たちが声を枯らして応援してくれました。私は、学級対抗ではない、縦割りの「団」というチームを組んでの体育大会というものは初めてだったので、当初は「チームとしての団結っていうのができるのだろうか」と心配でしたが、「団」の団結の強さに驚かされました。綱引きは、優勝チームvs保護者・先生の合同チームで戦いましたね。2-1で生徒チームが勝ちましたが、お父さんやお母さん、そして先生方も大声を出し、汗びっしょりになって楽しみました。そして、最後の『ソーラン節』。多くの人が、大きな声、そして大きなジェスチャーで自己表現をしました。そして終わった後、やりとげた満足感と、いままでの全校体育等の頑張りを思いおこして、多くの人が涙を流していました。私は今までの学校で、勝ち負けに感動して涙を流す姿は目にしてきましたが、今回の『ソーラン節』のように、出し物そのものへ感動して流した涙を始めて見ました。感動をくれた皆さんにお礼を言うとともに、その原動力になってくれた松井先生や、陰ながら応援してくれた他の先生方、保護者の方々にも、お礼を言いたいと思います。

さて、これからの一ヶ月、団結のステージが続きますが、どんなステージにしていけば

いいでしょう。私は、『この体育大会で培った団結力を、自分個人に返してもらいたい』と考えています。そして返す『場所』は、学習、健康、そして生活です。

ちょっと、話を大リーグのイチロー選手に向けます。イチロー選手は10年間も連続200本安打を達成しています。イチロー選手ははじめから、『200本だけ』を目標にしてやってきたのでしょうか。イチロー選手は、この質問にこう答えています。

『いま自分にできること、頑張ればできそうなこと、それをひとつひとつ積み重ねないと、遠くの目標に近づいていけないんですね』

『今度のテストで合計50点あげよう』と目標たてるのは必要。しかし、『いま自分にできること』は何かを考え実行すること、それが『今日は、1時間の授業で、最低5回は拳手しよう』でもいいのです。『県下のきれいな学校をつくろう』と目標をたてるのは必要。しかし『今日の清掃では、濡れ雑巾を使って教室の隅をピカピカにしてやろう』という小さい目標を立て実行する、これができなければ、遠くの大きな目標も達成できないでしょう。大きな目標達成のために、『いま自分にできる、頑張ればできそうなこと』を探し、達成し、それを積み重ねてみてください。そして、できればそれを、仲のいい友達同士で報告しあいながら、『有意義な1ヶ月』にしてもらいたいものです。

その個人へ返した力が、11月の『向上のステージ』にある『泉祭（合唱を含めた文化発表会）』の成功に、必ずつながるでしょう』



# 陽光祭、大成功! 応援ありがとうございました



先日は陽光祭の参観をありがとうございました。皆様のおかげで晴天の中、「しんこめる」を目指した、楽しく感動的な陽光祭を行うことができました。

以下はみなさんのアンケート結果です。

## 保護者のみなさんが陽光祭で心に残った競技



⑫	ソーラン節	27
⑥	全員リレー	17
⑪	選抜リレー	17
②	ふたりでおっちら	10
⑤	綱引き	10
⑧	台風の目	10



## 生徒たちの心に残った競技

⑫	ソーラン節	46
⑪	選抜リレー	37
⑥	全員リレー	32
②	みんなでダッシュ	33
⑩	長縄飛び	33



## みなさんのアンケートより（抜粋）

- ・全生徒さんの一生懸命の気が伝わりました。
- ・競技毎のあいさつが気持ちよい。
- ・生徒全員で体育大会を作り上げている、楽しんでいるといった印象を強く受けました。種目毎の大きな声での全員あいさつが素晴らしいです。実にさわやかです。（午前のみ見学の方）
- ・協力性があり、元気がある。
- ・教師と生徒が一体になって楽しんで行っていたのが見ていてとても良かったです。生徒たちものびのびしていて良いですね。
- ・みんなが一生懸命で種目全部が良かったです！
- ・天候に恵まれ、いい陽光祭でした。

生徒たちはみんな、心から楽しみ、感動した一日を過ごせたようです。この心の成長を、学校生活の様々な場面や、これからの生き方に広げ、つなげて行ってほしいと強く思います。今年もチーム分けについてご意見もいただきましたが、足の速さを均等にしようふり分けつつもりでした。今後も、課題を生かしながら、みなさんに応援していただける、生徒たち自身が感動できる陽光祭を目指したいと思います。

（体育主任：松井美帆子）

# 総合的な学習の時間... 体験学習

## 名刺片手に地域へ アポもバッチリ 1年

1年一日体験・見学学習 ～10月4日（火）

6月から、総合的な学習の時間に森町の産業についての探求活動を進めてきました。いよいよ11月の泉祭での発表を控え、10月4日、実際に訪問して話を伺ったり、体験したりしてこれまで調べたことを確認したりさらに理解を深めたりすることができました。



あん作り体験



戦国夢街道散策

この活動にあたって、事前に

「依頼の電話のかけ方」  
「訪問先でのマナー」  
「名刺の渡し方」  
「インタビューのコツ」



陶芸体験

事後に「お礼状の書き方」など基本的なことを学習しました。これらのことはきっと2年次のキャリアスタートウィークでの取り組みにも生きてくることでしょう。

お世話になった方、訪問先は以下の通りです。本当にありがとうございました。

陶芸工房アートファーム 晴山陶房 鈴木農園 朝比奈農園 葉匠あさおか  
栄正堂 石川園 亀八人形 安間工務店 森町商工会 次郎柿原木保存会

### 生徒の感想より

- ・安間工務店や亀八の社長さんから話を聞き、職人さんはみな、負けず嫌いのところがあるから一流になれるんだなと思いました。
- ・ブロッリーやレタスを初めて植えました。体験を通して買う人の安心・笑顔を大事にすることの大切さを学びました。

（1年副担任：小山真由美）



# 総合的な学習の時間... 2年 キャリアスタートウィーク

10月3日(月)～7日(金)

10月3日(月)～7日(金)は2年生の総合的な学習の一環としてのキャリアスタートウィークでした。その中で10月4日(火)～6日(木)3日間は、職場体験を実施しました。生徒の希望する事業所の協力を得て、森・掛川を中心に24事業所で行いました。

事業所のアンケートより



「朝は始業15分前に大きな声で『おはようございます。』と挨拶、作業中にも『はい。』とはっきり返事ができており、気持ちよく3日間過ごすことができました。事前の打ち合わせ、履歴書、学校側、生徒、生徒さんの親御さんの取り組みなど、すばらしさを感じました。」

「明るく仕事に関心を持ち、積極的に参加しようという姿勢も伺え、好感が持てました。3日間終了の挨拶で決意を述べられた点もよかったです。是非学校でも本人の意志を伸ばしていただけます様お願いいたします。」



「初日に最終日まで行う作業に関しては指示しておきましたが、スムーズにこなした様です。作業中分からないことがあれば、素早く聞き黙々と行っていました。清掃ばかりで大変申し訳なかったのですが、店内はとてもきれいになりました。」

担任と副担任でお世話になる事業所を回りましたが、どこも「しっかりやっている。」という言葉が聞かれ、大変うれしく思いました。今回の体験が、働くことの意義・厳しさや自己の適性を知り、あいさつ・言葉遣い・マナーなどを身につけたりするよい機会となったのではないかと思います。今後、学んだことを模造紙にまとめ、11月の「泉祭」で発表する予定です。  
(2年副担任：藤井誠雄)

